

## 講師のプロフィール



かや の しげる  
**萱野 茂**

1926(大正15)年、北海道平取町二風谷生まれ。1952(昭和27)年よりアイヌ民具・民話の収集及び記録に力を注ぎ、1972年、収集した約2,000点の民具をもとに「二風谷アイヌ文化資料館」として結実。1994年8月、参議院議員に繰り上げ当選してアイヌ民族初の国会議員となる。1992年3月「二風谷アイヌ文化資料館」は、「平取町立二風谷アイヌ文化博物館」となり、同年3月、旧「資料館」の建物を利用し、私立の「萱野茂二風谷アイヌ資料館」を新たに開いた。2002年2月には、右資料館の収蔵品202点(博物館は919点)を含む1,121点が、国の重要有形民俗文化財の指定を受けた。2003年3月現在の収蔵・展示点数は約4,000点。2001年3月、「アイヌ民族における神送りの研究 - 沙流川流域を中心に -」の学位論文によって学術博士号を取得。現在、著述業及び「萱野茂二風谷アイヌ資料館」館長。1987年6月から平取町二風谷アイヌ語教室の講師を務めている。

### 協力者の紹介

かや の し ろう  
**萱野 志郎**

「萱野茂二風谷アイヌ資料館」副館長・学芸員。  
平取町二風谷アイヌ語教室・子どもの部 講師  
平取町二風谷アイヌ語教室 事務局長  
アイヌ語ペンクラブ 事務局長

かい ざわ ま き  
**貝澤 真紀**

平取町二風谷アイヌ語教室・子どもの部 指導助手  
平取アイヌ文化保存会 事務局員

むら やま る み こ  
**村山 留美子**

平取アイヌ文化保存会 事務局員

### 【このテキストのアイヌ語と表記の仕方について】

現在のところアイヌ語には共通語というものはなく、それぞれの地域でそれぞれの方言が学ばれています。そのため、このテキストでは担当講師の方言(二風谷の方言)をベースにしています。

このテキストの中には「ド」という文字がありますが、これは、これまでのテキストの「トゥ」(tu)と表記されていた音と同じです。

# Lesson 14 天候の表現(1)

## 例文

1 シリピリカ (天気が良い)  
sir-pirka

2 タント シリ・ピリカ (今日は天気が良い)  
tanto sir-pirka

3 シリウエン (天気が悪い)  
sir-wen

4 タント シリウエン (今日は天気が悪い)  
tanto sir-wen

5 ニシクル アン (曇る、曇っている)  
niskur an

6 タント ニシクル アン (今日は曇りです)  
tanto niskur an

## 単語

アイヌ語	日本語訳	備考
シリ	様子、あたり、天気	
ピリカ	良い、美しい、きれい、かわいい、正しい、りっぱな、なおる、栄える	
タント	今日、本日	
ウエン	だめだ、悪い、間違っている、みすぼらしい	
ニシクル	雲	
アン	ある、いる、生まれる、住む	

## アイヌ語の解説

シリピリカは、「晴れ」「気候が良い」「天気が良い」という意味です。

タント アナク シリピリカ コロカ アマメチカッポ シシリクンネ

パクノ ソイタ アン ニサッタ アナクネ アプト アシ ノイネ

(今日はいい天気であったが、薄暗くなるまでスズメが外にいたので明日は雨であろう)

という表現もあります。

MEMO

## アイヌ文化の紹介

### アイヌの民具① イコロ (宝刀)

イ=それ、コロ=持つ、という意味です。アイヌ自身の手で作ることの出来ない刀の類(時には筭<sup>こうがい</sup>なども)をイコロとして大切にしていました。刀身はシサム(和人)との戦いが激しくなると、交易の際、和人が竹光<sup>たけみつ</sup>にしました。結婚の時、結納の品にも使われました。



『カムイユカ』と昔話』より

# ▶ Lesson 15 天候の表現(2)

## 例文

1 アフト アシ (雨が降る)  
apto as

2 タント アフト アシ (今日は雨降りです)  
tanto apto as

3 ウパシ アシ (雪が降る)  
upas as

4 タント ウパシ アシ (今日は雪が降っている)  
tanto upas as

## 単語

アイヌ語	日本語訳	備考
アフト	雨	
アシ	(雨・雪)が降る、(風が)吹く、立ち上がる、立ち止まる、(戸が)閉まる	
ウパシ	雪	



# ▶ Lesson 16 天候の表現(3)

## 例文

1 レラ アシ (風が吹く)  
rera as

2 タント レラ アシ (今日は風が吹いている)  
tanto rera as

3 レラ アン (風がある)  
rera an

4 タント レラ アン (今日は風がある)  
tanto rera an

5 レラルイ (風が強い)  
rera-ruy

6 タント レラルイ (今日は風が強い)  
tanto rera-ruy

## 単語

アイヌ語	日本語訳	備考
レラ	風	
ルイ	多い、強い	

## アイヌ語の解説

天候の表現(1)で出てきた、「ニシクル アン」(曇っている)と今回の「レラ アン」(風がある)の時は、「アン」(ある)を使います。嵐や荒天のことをルヤンペと言います。ルヤンペ トム タ エ・エク?は、君は雨降りの中を来たの?、という意味です。

MEMO

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

## アイヌ文化の紹介

### アイヌの民具③ タシロ (山刀)

昔、狩り・漁・遠出のときなど、左腰にタシロ(山刀)右腰にマキリ(小刀)をつけて歩きました。クマと戦う武器となりクマやシカの解体・木の枝を切るなど日常の生活用具として大切なものでした。



『カムイユカッと言話』より

## ▶ Lesson 17 天候の表現(4)

### 例文

1 シリセセク (暑い)  
sir-sesek

2 タント シリセセク (今日は暑い)  
tanto sir-sesek

3 シリポプケ (暖かい)  
sir-popke

4 タント シリポプケ (今日は暖かい)  
tanto sir-popke

### 単語

アイヌ語	日本語訳	備考
セセク	暑い	
ポプケ	暖かい	

## アイヌ語の解説

シリセセクは暑い、シリポプケは暖かい、と一言で天候を言い表すことの出来る言葉です。もし自分が暑く感じる時は「ク・セセク フミ」と言い、自分が暖かく感じる時は「ク・ポプケ フミ」と言います。

MEMO

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

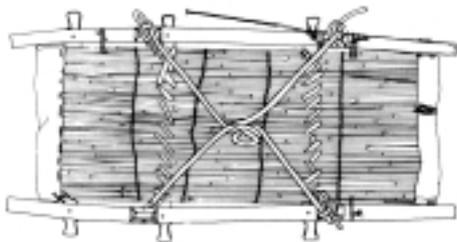
.....

.....

## アイヌ文化の紹介

### アイヌの民具④ シンタ（揺すり台）

赤ん坊を乗せておくゆりかごのようなものです。材料はシケレペニ(キハダ、北海道方言ではシコロ)を使い、幅約30センチ、長さは73～75センチ。はしご型に作った上にオニガヤを編んだ<sup>す</sup>簧をのせて完成します。シンタはこの形からホーチプ(舟)とも言います。下が簧になっているので通気性がよく、おむつカバーがない昔はとても便利でした。



『カムイユカッと昔話』より

# ▶ Lesson 18 天候の表現(5)

## 例文

1 メアン (寒い)  
me-an

2 タント メアン (今日は寒い)  
tanto me-an

3 シリメマン (涼しい)  
sir-meman

4 タント シリメマン (今日は涼しい)  
tanto sir-meman

## 単語

アイヌ語	日本語訳	備考
メアン	寒い	
メマン	涼しい	



# ▶ Lesson 19 季節の表現(1)

## 例文

1 シリサク (夏になる)  
sir-sak

2 サク ポンナイ アサム タ トポンラ アン  
sak pon-nay asam ta toponra an  
夏 小沢 底 ~へ 水苔 ある

コロ ポロワッカ アン ペ ネ  
kor poro-wakka an pe ne  
と 大水(大洪水) 起こる もの なる

(夏に小沢の底に水苔が異常に発生すると洪水がある)

## 単語

アイヌ語	日本語訳	備考
サク	夏、真夏	
ポン	幼い、小さい、少しの	
ナイ	沢、小沢	
アサム	底	
タ	~で、~に、~へ	
トポンラ	水苔、藻	
ポロワッカ	洪水、大洪水	
ペ	もの	
ネ	~になる	



# Lesson 20 季節の表現(2)

## 例文

1 シツチュク (シリチュク) (秋になる)  
sir-cuk

<アイヌのなぞなぞ>

2 ウオロ ペカ アペケシ スイエスイエプ ヘマンタ アン?  
Wor-o peka ape-kes suye-suye-p hemanta an  
水 ~に 薪の燃え尻 (何回も)振るもの 何 ある

(水の中で薪<sup>まき</sup>が燃え、尻を振っているものなに?)

(答え) オイシル (産卵後のシャケ・鮭、北海道方言ではホッチャリ)  
oysiru

### 単語

アイヌ語	日本語訳	備考
チュク	秋	
ペカ	~を、~に、~へ、~から	
アペケシ	薪の燃え尻、燃えさし	
スイエスイエ	振る、ゆさぶる	
ヘマンタ	何	

## アイヌ語の解説

日本語でシャケ・アキアジ・鮭などと呼ばれている魚は、アイヌ語で「カムイチェブ」または「シペ」と言います。カムイチェブは「神・魚」、シペは「本当・食べ物」と語源分解することが出来アイヌ民族にとって重要な食べ物であったことがわかります。ところが、現在は内水面取締調整規則という法律によって、河川を遡上して来たシャケ（鮭）を捕ることが全面的に禁じられています。

MEMO

## アイヌ文化の紹介

### アイヌの民具① チブ（丸木舟）

チ（われわれ）オプ（乗るもの）が原義で、昔のアイヌにとっては生活必需品でした。舟の材料はスス（バッコヤナギ）が最高で、次がランコ（カツラ）です。しかも、太くてまっすぐなものを選びます。安定のよい舟を造るには、立ち木の北側を舟底にすることが絶対条件です。北側は日当たりが悪く、生育が遅くて年輪が詰まり、重いからです。まさかりで木の皮をはぎ内側をくり抜き、次に外側を削ります。寸法は平均で全長6メートル40センチ～7メートル、幅47センチ、深さ30センチ、舟底の厚さは10センチくらいです。



『カムイユカッと昔話』より

# Lesson 21 季節の表現(3)

## 例文

1 シリマタ (冬になる)  
sir-mata

2 ポン ナイルップニ コロ ポロワッカ アン ペ ネ  
pon nay-rup-puni kor poro-wakka an pe ne  
小さい 沢・氷の塊 持つ 大水(洪水) 起こる もの なる

(小沢が凍って大人のにぎりこぶしのような氷の瘤があると、その年は洪水があるものだ)

3 ウパシキキリ ア・ヌカラ ワ シネチュブ ネ コロ ソンノ ウパシ アシ ペ  
upas-kikir a=nukar wa sine-cup ne kor sonno upas as pe  
雪虫 私たち・見るして 1か月 なる すると 本当 雪 降る もの

(雪虫が見えてから1か月すると本当の雪が降るものだよ)

### 単語

アイヌ語	日本語訳	備考
マタ	冬、真冬	
ルップニ	氷の塊	
コロ	持つ、産む、(手袋を)はめる	
キキリ	虫(総称)	
ヌカラ	見る、見える、会う	
シネチュブ	1か月	
ソンノ	必ず、本当に、まことに	



## Lesson 22 季節の表現(4)

### 例文

1 シリパイカラ (春になる)  
sir-paykar

2 シリパイカラ コロ ウパシ ル (春になると雪が融ける)  
sir-paykar kor upas ru

3 クナウ ペ ト°ム ワ ア・プス アーペコロ アン カムイ  
kunaw pe tum wa a=pusu a-pekora an kamuy  
フクジュソウ 雫 ~の中 から 私たち・掘る ように ある 神

イコロ ア・エウンケライ  
ikor a=e-unkeray  
宝刀 私・貰う

(フクジュソウの花の雫の中から掘り出したような神の宝刀を私は貰った)

### 単語

アイヌ語	日本語訳	備考
パイカラ	春	
クナウ	フクジュソウ	
ペ	雫	
ト°ム	~の中	
プス	掘る	
ペコロ	~のように、~らしく、ふり(を)	
イコロ	宝刀	
ウンケライ	貰う	



# Lesson 23 時制の表現(1) 現在形について

## 例文

1 タント モロラン (現在は室蘭) ウン カラパ (ク・アラパ) (今日、私は室蘭へ行きます)  
 tanto mororan un karpa(ku=arpa)

2 タント サルプト° (現在の富川) ウン 太郎 アラパ (今日、太郎は富川へ行きます)  
 tanto sar-putu un TARO arpa

3 タント サッポロ (現在の札幌) ウン ク・コロ エカシ アラパ  
 tanto sar-poro un ku=kor ekasi arpa  
 (今日、私の祖父は札幌へ行きます)

## 単語

アイヌ語	日本語訳	備考
モロラン	室蘭	地名
アラパ	行く、発つ (出発する)	
サルプト°	富川	地名
エカシ	祖父、おじさん、老人、翁、先祖 (男)	



## Lesson 24 時制の表現(2) 過去形について

### 例文

1 タント モロラン(現在は室蘭) ウン カラパ(ク・アラパ)  
tanto mororan un karpa(ku=arpa)

(今日、私は室蘭へ行きます)

<過去形にすると>

ヌマン モロラン(現在は室蘭) ウン カラパ(ク・アラパ)  
numan mororan un karpa(ku=arpa)

(昨日、私は室蘭へ行きました)

2 タント サルプト°(現在の富川) ウン 太郎 アラパ(今日、太郎は富川へ行きます)  
tanto sar-putu un TARO arpa

<過去形にすると>

ホシキパ サルプト°(現在の富川) ウン 太郎 アラパ  
hoski-pa sar-putu un TARO arpa

(去年、太郎は富川へ行きました)

3 タント サッポロ(現在の札幌) ウン ク・コロ エカシ アラパ  
tanto sar-poro un ku=kor ekasi arpa

(今日、私の祖父は札幌へ行きます)

<過去形にすると>

ホシキチュブ サッポロ(現在の札幌) ウン ク・コロ エカシ アラパ  
hoski-cup sar-poro un ku=kor ekasi arpa

(先月、私の祖父は札幌へ行きました)

## 単語

アイヌ語	日本語訳	備考
ヌマン	昨日	
ホシキパ	昨年	
ホシキチュブ	先月	

## アイヌ語の解説

今日は「タント」・昨日は「ヌマン」・明日は「ニサツタ」です。今年「タンパ」・去年は「ホシキパ」・来年は「オヤパ」です。

MEMO

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

## アイヌ文化の紹介

### アイヌの民具① タンパクオプ (煙草入れ)

材料はネシコ(クルミ)の木をマキリ(小刀)でくり抜き、底は別に作りはめこみます。昔のアイヌ社会は、各人が自分で使う道具は自分で作りました。直径13センチ、高さ12センチくらいです。カパイ(イラクサ)の紐でつながっているのは、キセルを固定するもので「さし」といいます。



『カムイユカ』と昔話』より

# Lesson 25 時制の表現(3) 未来形

## 例文

1 タント モロラン(現在は室蘭) ウン カラパ(ク・アラパ) (今日、私は室蘭へ行く)  
 tanto mororan un karpa(ku=arpa)

<未来形にすると>

ニサッタ モロラン(現在は室蘭) ウン カラパ(ク・アラパ)  
 nisatta mororan un karpa(ku=arpa)  
 (明日、私は室蘭へ行きます)

2 タント サルプト°(現在の富川) ウン 太郎 アラパ  
 tanto sar-putu un TARO arpa  
 (今日、太郎は富川へ行く)

<未来形にすると>

ニサッタオヌマン サルプト°(現在の富川) ウン 太郎 アラパ  
 nisatta-onuman sar-putu un TARO arpa  
 (明晩、太郎は富川へ行きます)

3 タント サッポロ(現在の札幌) ウン ク・コロ エカシ アラパ  
 tanto sar-poro un ku=kor ekasi arpa  
 (今日、私の祖父は札幌へ行きます)

<未来形にすると>

オヤパ サッポロ(現在の札幌) ウン ク・コロ エカシ アラパ  
 oya-pa sar-poro un ku=kor ekasi arpa  
 (来年、私の祖父は札幌へ行きます)

## 単語

アイヌ語	日本語訳	備考
ニサッタ	明日	
ニサッタオヌマン	明晩	
オヤバ	来年	

## アイヌ語の解説

明日は「ニサッタ」、明日の朝は「ニサッタ クンネイワ」、明日の晩は「ニサッタオヌマン」です。来年は「オヤバ」です。

MEMO

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

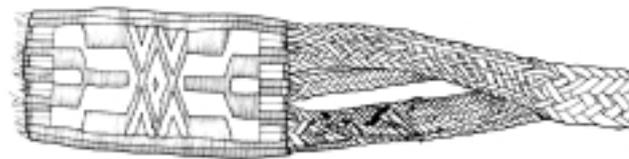
.....

.....

## アイヌ文化の紹介

### アイヌの民具⑫ タラ (背負縄)

荷物運びの代表的な道具。長さ4メートルの編み紐で、材料はチポプテニペシ(煮たシナノキの皮)です。中央の部分をタリベといい、額にかけて荷物を背負います。突然クマに出会っても、首を振るだけで荷物が離れ、戦ったり逃げたり出来ます。



『カムイユカ』と昔話』より



# Lesson 26

## 時制の表現(4) アを使った過去形

### 例文

1 アプト アシ ア コロカ シリメマンカ ソモキ  
 apto as a korka sir-meman-ka somoki  
 雨 降る (過去) けれど 涼しく も しない  
 <降った>

(雨が降ったけれど、涼しくもなりもしない)

2 イペ コロ アン ア コロカ ネユン カ アラパ ワ イサム  
 ipe kor an a korka neyun ka arpa wa isam  
 食べる しつつ いる (過去) けれど なぜ か 行く して いない  
 <いた>

(食べていたけれどもどこかへ行ってしまった)

### 単語

アイヌ語	日本語訳	備考
ア	~(し)た	動作の完了または過去
コロカ	けれど、けれども	
ネユン	なぜ、どう、どこ、なんと、いろいろ	
イサム	いない、ない、なくなる	





